

パン、菓子製造業における人力運搬機を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
3	15~16	通路に機材が置いてあり、台車を押しながら通過中、機械に気が付かず左手甲を機械にぶつけてしまった。	48	500~999
4	20~21	蒸しパンラインで作業中、次の製品で使用する金型を準備するため、作業していた場所から離れたところにある金型を取りに行った。金型は専用台車ではない台車に不安定な状況で積まれていたが、そのまま運搬しようとしたところ台車が勢いよく動き出してしまい、体勢が前方に崩れ、立て直そうとして左足を滑らせ転倒した。	64	1000~9999
4	8~9	2段台車に資材（18ケース180kg）をのせ、スロープを引っ張り搬送していたところ、荷崩れを起こし転倒した。その際、傾いた台車に挟まれ右足の踝を骨折し、腰を床面で強打した。	67	500~999
5	13~14	お昼休み工場内で仕事の準備をしている時、荷物を運ぶ台車に躓き、左脚膝と左手親指を負傷した。	64	30~49
6	11~12	仕上室に入室する時に、スイングドアの近くに置いてあった台車で、右足の裏の後部を強打した。	56	50~99
6	10~11	老化室に保管しているパンが載ったラックを移動させる際、ラックの外枠を持って移動したため、他のラックに右手小指を挟んだ。	31	100~299
		被災者はホイップクリームを積んだ番重（5寸番重8枚および空番重1枚計9枚）と、ジャムを積んだ番重（5寸番重1枚および空番重1枚計2枚）を運搬していた。被災者側に番重9枚、前方に2枚を連結させた状態で通路を運搬していたところ、		1000

7	12~13	前方の番重台車が他の原料を載せたパレットにぶつかり、はずみで連結器具が外れ、被災者側の9枚の番重が前方に倒れてしまった。番重が倒れた拍子に跳ね上がった台車が被災者の両脛に当たり被災した。 ※ホイップクリームを積んだ5寸番重は1番重あたり20kg、8枚で160kg。	44	~ 9999
7	23~ 24	工場の粉置場の清掃を行っていたとき、粉袋を台車に乗せたまま（通常は台車に粉を乗せない状態で行う）清掃を行おうと、台車の天板を持って動かした際、天板と下部のキャスターの間に指が挟まり負傷した。	38	~ 499
10	9~ 10	冷凍庫で、ケーキのラックを運搬中、ラックが床にひっかかり、ラックが倒れてきたので受け止めた際手を痛めた。	31	~ 100 299

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to：[https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_11.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html)